

2024年11月29日

各 位

株式会社三井住友銀行

### マツダ株式会社への「トランジション・ローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、マツダ株式会社（代表取締役社長：毛籠 勝弘/以下、「マツダ」）に対し、マツダが策定したサステナブル・ファイナンス・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）に基づくトランジション・ローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

トランジション・ファイナンスとは、脱炭素社会の実現に向けて、長期的な戦略に則った温室効果ガス削減の取組を行っている場合にその取組を支援することを目的とした金融手法であり、日本政府の2050年カーボンニュートラル宣言の実現に向けた具体的な取組の一つとしても位置付けられています。

マツダは、2030年経営方針における主要取り組みの一環として、2050年のサプライチェーン全体におけるカーボンニュートラル実現に向けた取り組み、電動化戦略、安全・安心なクルマ社会の実現への貢献などを掲げています。マツダは、こうしたサステナビリティに関する取組を推進する資金調達の枠組みとして、2024年1月に本フレームワークを策定しました。本ローンで調達した資金は、本フレームワークで定められた適格クライテリアのうち、BEVの開発・生産、マルチソリューションによるCO2排出量の削減等に充当する予定です。

なお、本フレームワークは、各種原則・ガイドライン<sup>1</sup>との適合性について、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）からセカンドオピニオンを取得しています。

#### 【本ローンの概要】

|                        |  |
|------------------------|--|
| 契約締結日                  | 2024年11月27日  |
| 実行日                    | 2024年11月29日  |
| 貸付人                    | 株式会社三井住友銀行   |
| 資金使途<br>(該当する適格クライテリア) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BEVの開発・生産</li> <li>・ マルチソリューションによるCO2排出量の削減</li> <li>・ 工場内発電の脱炭素化</li> <li>・ 自動車製造工程におけるエネルギー効率の改善</li> </ul> |

三井住友銀行では、今後も「脱炭素社会に向けた経営パートナー」として、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

<sup>1</sup> 国際資本市場協会（ICMA）「グリーンボンド原則」、「ソーシャルボンド原則」、「サステナビリティボンド・ガイドライン」、「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」、「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック（CTFH）2023」、ローン市場協会（LMA）、アジア太平洋地域ローン市場協会（APLMA）及びローンシンジケーション&トレーディング協会（LSTA）「グリーンローン原則」、「ソーシャルローン原則」、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、金融庁、経済産業省、環境省「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」、環境省「グリーンボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン（2022年版）」、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2022年版）」、金融庁「ソーシャルボンドガイドライン（2021年版）」。

(参考)

マツダ株式会社 ホームページ：  
<https://www.mazda.co.jp/>をご参照下さい。

マツダ株式会社 サステナブル・ファイナンス・フレームワーク：  
<https://newsroom.mazda.com/ja/publicity/release/2024/202401/240126a.html> をご参照下さい。

株式会社日本格付研究所（JCR）による第三者意見（2024年1月公表）の詳細：  
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照下さい。

以 上

**【本件に関するお問い合わせ先】**  
サステナブルソリューション部  
TEL：03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。